

産業分野：自動車・輸送機 業務分野：研究・開発・実験

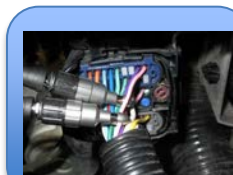
実路走行時におけるCAN FD/CANデータの取得

ADAS・自動運転の開発に必要な走行中のCANデータを非接触CANセンサで取得

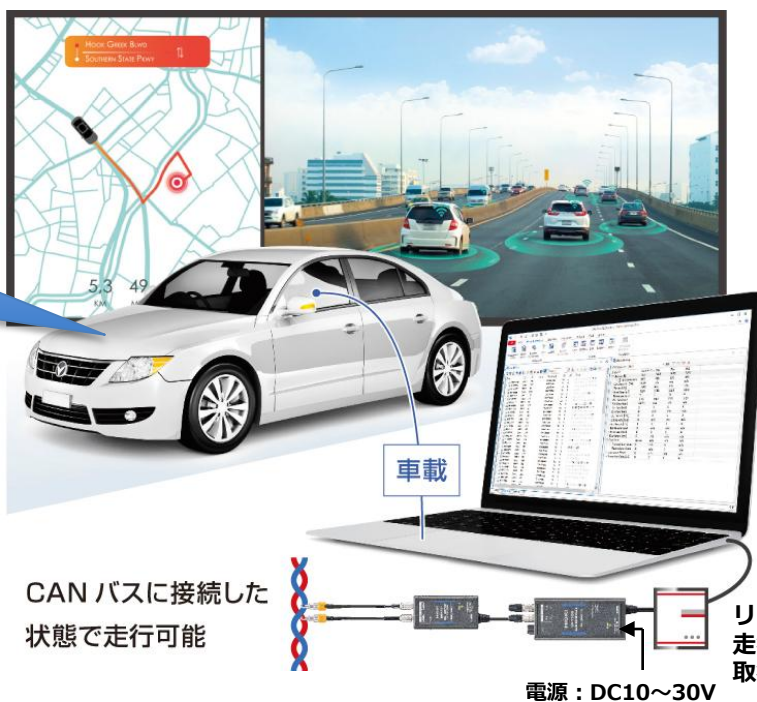
ポイント

- ・車両のCANバスを加工する不要がなく、CANバスの被覆の上からCAN FD/CAN信号を取得可能。
- ・CANバスにしっかり固定できるプローブ構造を採用。走行中の振動でもプローブが外れない。
- ・被覆によるCANバス(信号線)の保護が失われず、走行中にCANバスが短絡する心配なし。
- ・OBD-IIから出力されないCAN信号を含め、すべてのCAN信号を取得可能。
- ・自動運転の基礎データとなる**実路走行時のCANデータ収集**、**自動運転テスト時のCANのモニタリング**などが可能

公道の走行試験も安心



- ・走行中の振動を考慮した耐振動性
- ・CANバスにしっかり固定できる



CANバスに接続した状態で走行可能

リアルタイムに走行中のCANを取得!!

電源：DC10~30V

CANバスの極性を気にせず接続も可能



12V/24Vの車載バッテリーや各種電源に対応



標準付属の電源ケーブルL9500でDC電源を使用できます。AC電源を使用する場合は、ACアダプタZ1008(オプション)をお使いください。

使用機器

- ・ SP7001-90 非接触CANセンサ (CAN FD/CAN対応)
- ・ SP7002-90 非接触CANセンサ (CAN対応)

記載内容は2020年4月現在のものです。仕様はお断りなく改正・改訂することがあります。